

財団法人横浜企業経営支援財団

横浜発 アグリビジネス連携 本格始動！
本日、国立大学法人鹿児島大学との産学連携協定書を締結

(財)横浜企業経営支援財団(理事長 清水利光) IDEC は、横浜市内企業の経営を支援する唯一の公的支援機関として、総合的・継続的な支援体制による事業を積極的に展開しており、昨年度からは経営支援体制の充実・強化を図るため、金融機関(3大メガを含む6金融機関)や(株)知財マネジメント支援機構、市外大学(東海大学)、県外大学(早稲田大学、同志社大学、関西大学、関西学院大学、山口大学、高知大学、立命館大学、広島大学)と戦略的業務提携を締結してまいりました。

本日、九州の大学との連携は初となる国立大学法人鹿児島大学と産学連携に関する協定書を締結いたしました。

鹿児島大学は、九州最南端に位置する、8学部(法文、教育、理、医、歯、工、農、水産学部立)、10研究科(修士課程3、博士課程5、専門職課程2)および多島圏研究センター等の研究施設を有した国立の総合大学です。鹿児島大学の起源は1773年に設立された藩学造士館です。鹿児島には、明治以降も、明治2年に、ウィリアム・ウイリスを校長とする西洋医学校をはじめ、藩学造士館の名跡を受け継いだ第七高等学校造士館、鹿児島師範学校、鹿児島高等農林学校、鹿児島県立商船学校、鹿児島県立工業専門学校などが創立。1949年(昭和24年)、鹿児島のこれらの高等教育機関を統合し、新制鹿児島大学がスタートいたしました。本年は新制大学として創立60周年を迎えます。

財団では現在、「農工連携事業」を推進しており、協定書をベースに鹿児島大学に参画していただくことにより横浜発アグリビジネス連携が本格始動します。鹿児島県は全国第4位(平成19年都道府県別農業産出額調査)の農業大県であり、鹿児島大学は農学部・水産学部を抱えるなど、食・農水産業・アグリバイオに関する研究シーズが豊富な大学です。6月26日には鹿児島大学のこれら研究シーズを発表する「産学交流サロン」を開催します。

この発表会を契機に「横浜の工学・工業技術」と「鹿児島の農林水産業」について、鹿児島大学を介して地域を超えた連携の創出を図ります。また、「鹿児島のシーズ(食材・食品等)」と「首都圏の消費者・食品産業関係者のニーズなど」とのマッチングを促進します。また、「鹿児島に蓄積された農林水産業・食材・食品関連の技術やデータ、情報など」の首都圏企業等で活用します。さらに、大学と横浜企業間のマッチングだけでなく、財団と大学を介した横浜企業・鹿児島企業間の産学連携も想定しています。

財団を中心とした全国初の広域的産学官連携システム(横浜をベースとした、全国の大学と市内企業を結びつける産学連携体制)のさらなる拡充に向けた鹿児島大学との連携は、九州地区展開 第1弾、国立大学との連携としては第4弾となる締結です。

今後は北陸・北日本の国立大学へもネットワークを広げ、キメ細かく質の高い支援体制を構築することで市内中小企業が抱える経営課題の解決及び企業経営の安定と発展に向けて各種事業を強力に推進してまいります。

※詳細につきましては、裏面をご覧ください。

■ 横浜企業経営支援財団と鹿児島大学との主な協議事項

(1) 鹿児島大学の横浜市をコアにした首都圏における産学官連携の推進

鹿児島大学が保有する技術シーズの市内企業への活用支援を目指した研究推進体制の編成、ならびに知財の流通や新たな技術開発を促進し、産学官による地域連携を推進します。

(2) 鹿児島大学シーズと横浜市内企業とのマッチング

①財団主催の産学交流サロンで鹿児島大学の研究シーズを定期的に紹介します。

6月には連携キックオフイベントとして下記サロンを開催します。

□ 第144回産学交流サロン

日時 平成21年6月26日(金)14:00-17:00

場所 横浜企業経営支援財団大会議室

内容 鹿児島大学の農工研究シーズ(食品の安全・安心、新食材・食品、新農業生産技術を中心に)

講師 安部 淳一 副学長・産学官連携推進機構長(農学部・教授)他

②財団が運営する農工連携事業に参加し、横浜の企業とのアグリビジネスを促進します。

③財団が運営するテクニカルショウヨコハマ・産学連携ブースで鹿児島大学の研究活動を紹介します。

④財団と鹿児島大学が核となり横浜企業と鹿児島企業の連携を促進します。

(3) 財団が保有する産学官-金融連携ネットワークの活用

財団が進める知財マネジメント支援機構や金融機関との戦略的提携による産学官-金融連携ネットワークの構築を通じて、産学連携の機会創出から技術評価、融資までのワンストップ支援を行います。鹿児島大学が「横浜産学リエゾン会議」(連携18大学を中心とする産学連携事務局ネットワーク)に参加し、財団のネットワークの拡大・強化をはかります。

(4) 鹿児島大学横浜サテライトオフィスの設置(IDEC横浜産学連携サテライトの利用)

財団運営の横浜産学連携サテライトに鹿児島大学の横浜サテライトオフィス機能を持たせることにより、鹿児島大学と市内企業とのアクセスを容易にします。

大学発ベンチャーの立ち上げ初期に対して、知財・技術経営を含めた総合的な経営支援を行います。

IDEC・鹿児島大学連携図

